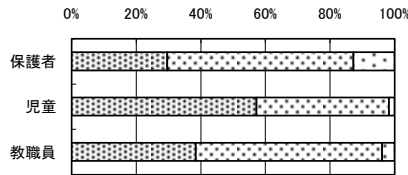


■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

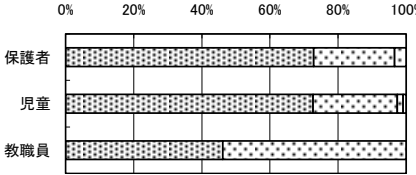
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



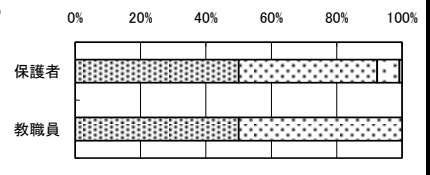
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

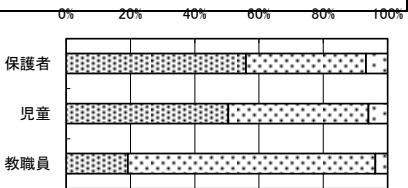


【学校から】 1については、年間を通して学級・学年・学校・保健・給食だより等、及び各種PTAや地域の会議でお知らせしている。昨年より児童の回答4が3.2ポイント増え、分かりやすい指導の結果であると思う。2は、保護者・児童の4、3が97%に達し、楽しい学校生活が送れていると思うが、3、4の児童が合わせて3%いることにも配慮し、今後も努力していきたい。3については、教職員は100%が連携協力していると意識しており、今後もいっそう連携を強めていきたい。

教科指導

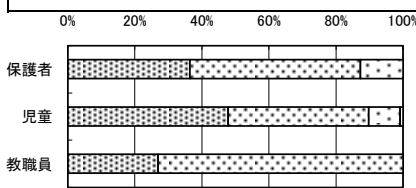
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

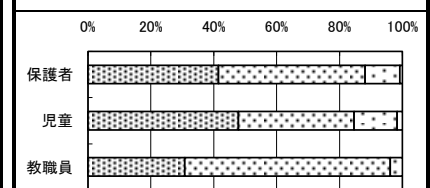
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



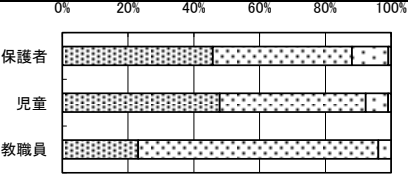
【学校から】 4は、昨年度より、保護者・児童ともに授業づくりについての評価が高くなっており、教職員の努力の成果が伺えるが、教職員自身の4の評価はあまり高くない、教師自身は求めるものが高くなると思われる。5については、保護者の4の評価が昨年度より20%下回っており、家庭学習の様子なども勘案して来年度の課題とした。

【学校から】 昨年度と比べ、4については保護者は16%増、逆に児童は12%減となっている。外部へのアピールが進んだ反面、児童にとって総合的な学習の時間を魅力ある学習内容にする工夫が必要である。

道徳教育 心の教育

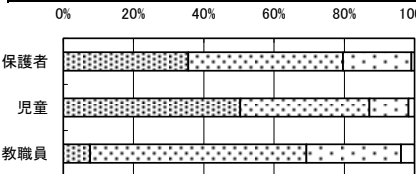
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

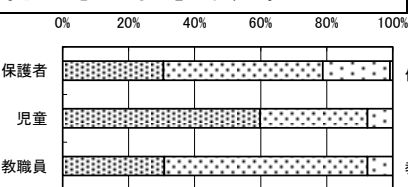


【学校から】 7については、学校教育全体の中で全職員で取り組んでいるところであるが、すぐには結果が表れにくい項目である。8についても、重点項目に取り上げて力を入れているが、なかなか定着させるまでには至っていない。家庭や地域でも成果が表れるように根気強く習慣化を図っていきたい。

人権教育

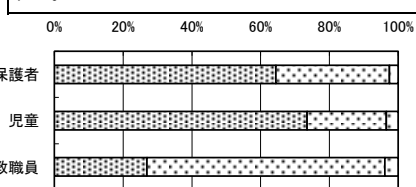
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

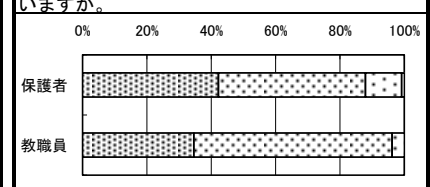


【学校から】 9について、児童は学校の指導や対応に満足感をもっている傾向が続いているが、保護者からみるとまだ不十分であると考えられる。保護者との信頼関係を大切にしていきたい。10については、昨年度と比べ4の評価は、保護者の評価では20%よくなっているが、教職員では逆に22%下がっている。児童では友達と仲良くしていると思っているのが90%を超えているが、どちらかといえばそう思わないも5%ほどいる。淋しい思いをしている児童がいるという課題に今後も取り組んでいきたい。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



【学校から】 保護者では1、2の回答が13%あり、学校の支援体制について今後説明していく必要がある。また、教職員は4、3が96%であるが、今後とも研修などにより特別支援教育についての理解を深めていく。

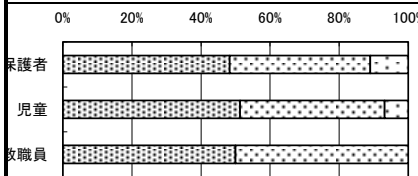
生徒指導 教育相談

12 生徒理解

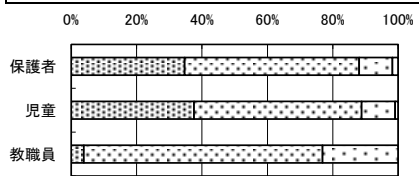
13 規範意識

14 いじめや問題への対応

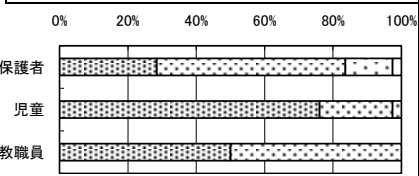
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。



子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

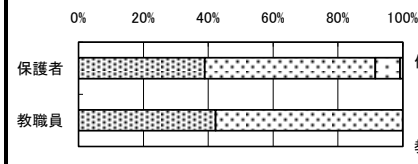


【学校から】 12、14については、全職員が意識をもって子ども理解に努め、いじめ問題には早急な対応を心がけている。児童にもほぼその取組が浸透していると思うが、保護者には12が11%、14が17%「そうは思わない」という回答があり、保護者と連携を図りながら進めていかなければならない。13については、教職員と保護者の4の差が大きく、懇談会やお便りなどあらゆる機会に現状を周知して、学校の願いまで高める努力をする。

## 健康教育 安全

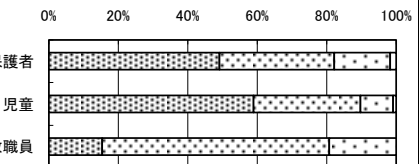
### 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



### 16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

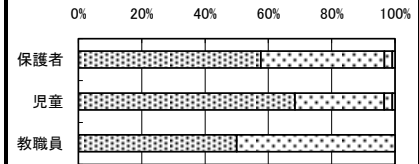


【学校から】 15については、校舎建築中の安全確保に力を入れ、昨年と同様の結果を達成することができた。16については、児童の90%、保護者の82%、教職員の81%が体力向上ができておりと答えており、校舎建築で遊び場が狭くなっているものの工夫して外遊びができています。

## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

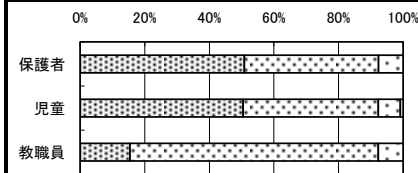


【学校から】 全教職員が参加について工夫しており、保護者、児童からも高い評価を得ている。

## 学校環境

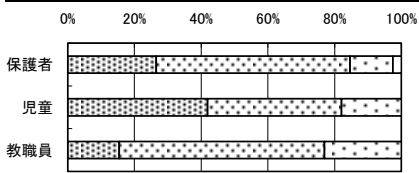
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

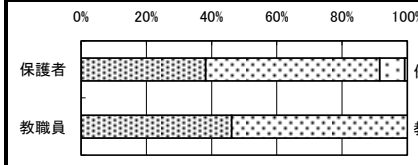


【学校から】 18については、児童、教職員で緑化や校内環境について週間を設けて取り組んだり、年間を通して花壇や掲示物の世話をしたりして、気持ちのよい学習環境を整えており、4、3の評価が、保護者、児童、教職員ともに92%に達している。19については、安全点検をして安全確保について万全を期しているが、校舎の老朽化が目立つところがあり、保護者15%、児童18%、教職員23%が不安感をおもっているため、できることから改修をお願いしていく。

## 情報の公開・発信

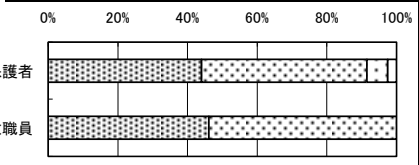
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

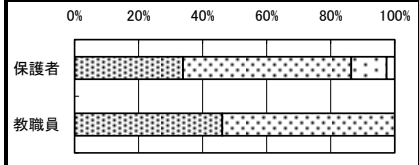


【学校から】 20も21も、学級・学年・学校だよりを発行したり、ホームページで紹介したり、全教職員がいろいろな機会を活用して情報を発信し、結果を周知したり、参加を呼びかけたりと努力を重ねているが、どうしても保護者の6%~8%には届いていない結果となっている。今後も、情報公開及び参加しやすい行事等の工夫に努めていきたい。

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】 大きな支援をいただき、地域連携推進委員会や防犯パトロール、子ども見守り隊等、保護者や地域と連携した取組が充実している校区であり、学校も大変感謝している。2、1と回答された保護者も14%おられるので、もっと連携協力して推進していく機会を今後とも模索していきたい。

## 来年度の具体的な取り組みについて

- 熊本市教育委員会研究委嘱を受けて、今年の秋に研究発表会を開催する予定である。本校の研究テーマ「自信をもって行動できる子どもの姿を求めて」～人とかかわりの中で高め合う学習活動の工夫～について、学級会・英語活動・特別支援教育の3つを柱に研究を深め、児童の意欲を高めながら、家庭学習にも配慮して、学力の向上を目指す。
- 豊かな心を育むために、道徳・心の教育に力を入れ、保護者や地域の方々に協力連携をお願いして、あいさつ・礼儀の励行、規範意識などを身に付けさせる。
- 一人一人の児童に寄り添った細やかな教育活動に心がけ、いじめの早期発見や特別支援教育のいっそうの充実を図る。
- 保護者や地域の協力を得て、校内美化や環境整備に取り組み、潤いのある、安全で美しい学習環境を作る。

## 学校関係者評価

- 教職員の4授業づくりや9一人一人の生徒の尊重の4が低いが、日ごろからしっかりやっていることを保護者に伝え、自己評価を高くして自信をもっていいと思う。
- 14いじめや問題への対応の保護者評価4が28%と低いが、児童は97%が「学校ではすぐ対応している」と答えているので、保護者が家庭で児童としっかり話さなければならないと思う。
- 22家庭や地域との連携協力では、保護者の14%が2、1の評価である。地域の間関係も希薄になりがちで無関心な保護者もいるのではなか。学習ボランティア、地域の行事等に参加を呼びかけて、温かい人のつながりを作っていく必要がある。
- 8あいさつ、礼儀の励行は、まずは家庭の中から親が範を示し、大人から声をかけて行動する雰囲気を作る。不審者のこともあるが、近所や地域の人には気持ちよくあいさつできる子どもでありたい。